



# 平成 17 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況 (連結)

平成 17 年 1 月 31 日

上場会社名 日本農産工業株式会社

(コード番号: 2051 東証・大証 第一部)

(URL <http://www.nosan.co.jp>)

代表者 代表取締役社長 三好 正俊

問合せ先責任者 執行役員業務推進部長 富沢 健

(TEL: (045) 224 3703)

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容)

- ・法人税等の処理・・・法定実効税率をベースとした簡便な方法によっています。
- ・その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いています。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

## 2. 平成 17 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 12 月 31 日)

### (1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(注)金額は百万円未満を切り捨て

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 3 月期第 3 四半期	92,203	( 11.1)	1,594	( 12.8)	1,650	( 8.2)	1,125	( 21.7)
16 年 3 月期第 3 四半期	82,986	( )	1,827	( )	1,525	( )	924	( )
(参考)16 年 3 月期	109,388		2,324		2,056		1,084	

	1 株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17 年 3 月期第 3 四半期	9	18	9	17
16 年 3 月期第 3 四半期	7	48	7	48
(参考)16 年 3 月期	8	61	8	61

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しています。

### [ 経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当連結第 3 四半期までのわが国経済は、海外景気やデジタル関連需要の堅調な動きを受け、輸出の増加や企業の生産活動も拡大が続いてきましたが、夏場以降この動きが反転したため政府・日銀は 11 月以降、景気判断を下方修正しました。しかしながら、景気の落ち込みは小さく「踊り場」を経て、回復軌道に戻るとの見方が引き続き多い状況にあります。

飼料・食品業界においては、輸入穀物相場等の変動により当期初 4 月と 7 月に飼料価格を値上げし、その後、原料情勢の軟化を受け 10 月には値下げを行いました。また、畜産物相場は豚肉と牛肉が前期に比べ上昇したことや、鶏卵が歴史的相場低迷から回復するなど第 3 四半期は、生産者における経営環境が 4 月～9 月に比べやや改善されたものと思われませんが、飼料業界は原料費の低下を超える 10 月値下げの影響などで収益環境は、まだ厳しい状況にあります。

事業別状況は以下のとおりです。

#### 【飼料事業】

畜産飼料の全国需要は、昨年夏の猛暑や相場低迷による鶏の生産調整などから前年割れの状況とみられますが、当社グループにおいては完全分離した牛用飼料の製造ラインの順調な稼働や、新製品の発売等、安全・安心を追求するグループ方針のもと、積極的な販売活動に取り組んだ結果、売上数量は前年同期を上回りました。

水産飼料においては、当社グループは淡水用や銀鮭用飼料が伸長しましたが、度重なる台風の襲来などで業界全体の数量が前年同期に比べ減少し、当社グループもその影響を少なからず受けたことから、売上数量は前年同期をやや下回りました。

## 【食品事業】

ヨード卵は、消費者の安全・安心志向にお応えすべく、当社ホームページにて生産農場及び選別包装場所が検索できるシステムとなっておりますが、さらに、昨年12月からはお客様が店頭にてこれらを確認できるよう、鶏卵業界として初めてラベル上にトレーサビリティのための二次元バーコードを記載することとしました。また、量販店等への企画提案など積極的な販売活動を行った結果、売上数量は業務用を含め前年同期をやや上回りました。

## 【ライフテック事業】

アメニティ部門では、従来からの動物病院向けペットフードは順調に推移していますが、新たに東京大学と共同開発したアレルギー療法食が加わり、前年同期に比べ大きく売上を伸ばしました。ただ、その他のペットフードがほぼ前年並みに推移したため、全体では前年同期並みの売上数量になりました。

バイオ部門では、ADME/Tox(薬物動態及び毒性試験)分野の研究用試薬マイクロソーム、生殖医療分野における細胞用培地の主力商品が順調に伸長するとともに、それぞれ分野で品揃えを広げながら売上を伸ばしています。また、新たに遺伝子免疫法による抗体作製の受託サービスと不死化肝細胞の大手製薬会社への販売が加わってきております。

以上の結果、11月8日発表(中間連結決算短信)の通期連結業績予想に対する進捗状況は以下のとおりです。

- ・売上高 922億円(進捗率76.8%)
- ・経常利益 16億50百万円(同78.6%)
- ・四半期純利益 11億25百万円(同93.8%)

## (2) 財政状態(連結)の変動状況

(注)金額は百万円未満を切り捨て

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	62,394	19,800	31.7	161 68
16年3月期第3四半期	60,776	19,089	31.4	154 85
(参考)16年3月期	57,777	19,433	33.6	157 47

## 【連結キャッシュ・フローの状況】

(注)金額は百万円未満を切り捨て

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第3四半期	719	1,631	773	294
16年3月期第3四半期	1,567	300	2,834	405
(参考)16年3月期	3,701	822	4,419	433

## [ 財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等 ]

総資産は平成16年3月末と比較して4,616百万円増加し、株主資本が367百万円増加した結果、株主資本比率は1.9%悪化しました。

増減の主なものは、資産では受取手形及び売掛金が4,229百万円増加しました。負債では、支払手形及び買掛金が3,569百万円、長短借入金が1,710百万円増加し、未払法人税等が622百万円減少しました。

## (連結キャッシュ・フロー)

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前第3四半期純利益1,798百万円及び減価償却費1,758百万円があったものの、売上債権の増加4,234百万円、仕入債務の増加3,569百万円、法人税等の支払1,107百万円などがあったことにより、719百万円の増加となりました。

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得による支出2,075百万円、固定資産の売却による収入520百万円などにより、1,631百万円の減少となりました。

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払554百万円、自己株式の取得171百万円があったものの、借入金の増加1,712百万円などにより、773百万円の増加となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当連結第3四半期末残高は294百万円となり、前期末に比べ139百万円の減少となりました。

3 . 平成 17 年 3 月期の連結業績予想（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

業績予想の変更はありません。

[ 業績予想に関する定性的情報等 ]

第 4 四半期においては飼料価格安定基金の積立金が減額されたことや、持分法適用会社の業績回復などが見込まれますが、加えて、コスト削減や販売体制の見直しによる利益率の改善などに努め、さらなる収益体制の構築に取り組んでまいります。

なお、通期業績予想は連結、単体とも据え置きます。

## 四半期連結(要約)貸借対照表

(単位：百万円)

資 産 の 部	当第3四半期	前 期 末	比較増減	前第3四半期	負 債 ・ 資 本 の 部	当第3四半期	前 期 末	比較増減	前第3四半期
	(16.12.31)	(16.3.31)		(15.12.31)		(16.12.31)	(16.3.31)		(15.12.31)
流 動 資 産	31,766	26,910	4,856	30,350	流 動 負 債	34,036	29,284	4,752	32,957
現金及び預金	294	433	139	405	支払手形及び買掛金	16,160	12,590	3,569	14,838
受取手形及び売掛金	21,735	17,505	4,229	21,200	短 期 借 入 金	12,837	11,054	1,782	12,963
た な 卸 資 産	5,825	5,646	179	5,312	そ の 他	5,038	5,638	599	5,155
そ の 他	4,168	3,490	678	3,636	固 定 負 債	8,556	9,060	503	8,729
貸倒引当金	257	165	92	204	長 期 借 入 金	6,107	6,178	71	5,781
固 定 資 産	30,627	30,866	239	30,426	退 職 給 付 引 当 金	1,503	1,883	380	2,098
1 有 形 固 定 資 産	21,117	21,719	602	21,386	そ の 他	946	997	51	849
建物及び構築物	8,334	8,664	329	8,652	負 債 合 計	42,593	38,344	4,249	41,686
機械装置及び運搬具	6,259	6,857	597	6,417	少 数 株 主 持 分	-	-	-	-
土 地	5,435	5,483	48	5,274	資 本 金	7,411	7,411	-	7,411
そ の 他	1,088	714	374	1,041	資 本 剰 余 金	2,732	2,731	1	2,731
2 無 形 固 定 資 産	377	163	214	170	利 益 剰 余 金	9,877	9,327	550	9,167
3 投 資 其 他 の 資 産	9,131	8,983	148	8,869	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	963	981	18	797
投資有価証券	6,471	6,372	99	6,189	自 己 株 式	1,184	1,019	165	1,019
そ の 他	2,950	2,892	58	2,814	資 本 合 計	19,800	19,433	367	19,089
貸倒引当金	290	280	9	134	負 債 ・ 少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計	62,394	57,777	4,616	60,776
資 産 合 計	62,394	57,777	4,616	60,776					

## 四半期連結(要約)損益計算書

(単位：百万円)

摘 要	当第3四半期 自 16. 4. 1 至 16.12.31	前第3四半期 自 15. 4. 1 至 15.12.31	比 較 増 減	前 期 自 15. 4. 1 至 16. 3.31
売 上 高	92,203	82,986	9,216	109,388
売 上 原 価	79,534	70,364	9,169	92,653
( 売 上 総 利 益 )	( 12,669 )	( 12,622 )	( 46 )	( 16,735 )
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	11,074	10,795	279	14,410
営 業 利 益	1,594	1,827	233	2,324
営 業 外 収 益	384	228	155	305
受 取 利 息 及 び 配 当 金	85	102	16	117
そ の 他	298	126	172	187
営 業 外 費 用	327	530	202	573
支 払 利 息	218	235	17	306
そ の 他	109	294	185	267
経 常 利 益	1,650	1,525	125	2,056
特 別 利 益	430	389	40	473
固 定 資 産 売 却 益	430	377	53	383
そ の 他	-	12	12	90
特 別 損 失	282	133	149	563
固 定 資 産 売 除 却 損	65	92	27	168
そ の 他	217	40	176	394
税金等調整前第3四半期(当期)純利益	1,798	1,781	16	1,965
法人税、住民税及び事業税	658	850	192	881
少数株主利益	13	6	7	0
第3四半期(当期)純利益	1,125	924	201	1,084

(注) 第3四半期における税金費用については、簡便法により計算しているため、「法人税等調整額」は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

## 四半期連結(要約)キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

項 目	当第3四半期	前第3四半期	前 期
	自 16. 4. 1 至 16.12.31	自 15. 4. 1 至 15.12.31	自 15. 4. 1 至 16. 3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税金等調整前第3四半期(当期)純利益	1,798	1,781	1,965
2. 税引前利益の調整			
減価償却費	1,758	1,775	2,452
引当金の増減	291	253	325
その他の増減	725	547	13
3. 資産及び負債の増減			
売上債権の増減	4,234	4,235	705
棚卸資産の増減	183	496	162
その他の流動資産の増減	918	815	416
仕入債務の増減	3,569	3,791	1,542
その他の流動負債の増減	1,054	170	425
4. 法人税等の支払額	1,107	595	535
合 計	719	1,567	3,701
投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 固定資産の取得	2,075	1,227	2,144
2. 固定資産の売却	520	522	536
3. 投資有価証券等の増減	13	326	658
4. 貸付金の増減	8	109	208
5. その他投資等の増減	71	32	82
合 計	1,631	300	822
財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 短期借入金の増減	1,668	3,820	5,620
2. 長期借入金の実行	1,390	3,099	4,037
3. 長期借入金の返済	1,346	1,307	1,954
4. 配当金の支払	554	497	498
5. 自己株式の取得	171	75	75
6. 自己株式の売却	7	0	0
7. その他	220	233	307
合 計	773	2,834	4,419
現金及び現金同等物の増減額	139	1,567	1,540
現金及び現金同等物の期首残高	433	1,973	1,973
現金及び現金同等物の第3四半期(期末)残高	294	405	433

## セグメント情報

### 1. 事業の種類別セグメント情報

当四半期

(単位：百万円)

摘 要	当 第 3 四 半 期 (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)							消去又は 全社	連 結
	飼 料 事 業	食 品 事 業	ライフテック 事 業	そ の 他 事 業	計				
売 上 高	73,047	12,131	8,616	747	94,543	(2,339)	92,203		
営 業 費 用	71,255	11,736	8,285	737	92,014	(1,405)	90,609		
営 業 利 益	1,791	394	330	10	2,528	(934)	1,594		

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、製品の種類・性質及び市場の類似性を考慮して区分しています。

2. 各事業の主な製品及び事業内容

- (1) 飼 料 事 業・・・鶏用飼料、豚用飼料、牛用飼料及び魚用飼料
- (2) 食 品 事 業・・・ヨード卵、ヨード卵関連商品、鶏卵
- (3) ライフテック事業・・・ペットフード、馬用飼料、実験動物及び実験動物用飼料、バイオ関連商品
- (4) そ の 他 事 業・・・建築請負、不動産管理及び役務等

### 2. 所在地別セグメント情報

本国以外での売上高及び営業損益はありません。

### 3. 海外売上高

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しました。